会員会社紹介

デロイト トーマツ サイバー合同会社

サイバー・アドバイザリー
パートナー
アナンド・ラガワ・プラサド

人・モノ・組織・社会インフラなどがあらゆる境界を越えてつながりあう IoT 時代に入り、サイバーセキュリティは企業の重要な経営課題のひとつであると同時に、長期的成長の重要視点である ESG 対応としての位置づけなど、あらゆる経営変革に必要な要素となっています。

デロイト トーマツ サイバー合同会社（以下、DTCY）は、企業の持続的成長や競争力向上に向けた経営変革を、サイバーセキュリティの面から支援する、デロイト トーマツ グループの専門家集団として2019 年に設立されました。以降、Strategy（戦略）、Secure（予防）から、Vigilant（発見）、Resilient（事後対応）に至るまで、サイバーセキュリティに求められる知見・機能を一気通貫で提供できる体制を整備しています。（図 1 参照）

その専門領域の一つに Emerging Technology（新興技術）分野があり、OT、IoT、ドローン等に加えて、モバイル接続（4G/5G、Open RAN、ローカル 5G 等）技術についても、実践的な知見に基づきサービスを提供しています。

一例として、当社の 5G に係る支援概要を挙げますと、全ての 5G ネットワークが 3GPP 標準機能だけで構成される訳ではなく、展開や運用の方法により、設計は大きく異なります。また、3GPP が規定するセキュリティ管理における技術標準は、ネットワークの相互運用性を確保するために不可欠な側面に限られており、それらは図 2 に示す「設計」段階でのみ機能しますが、セキュリティの確保には、ネットワークライフサイクル全体に渡る包括的アプローチが必要です。その為、当社では、後述のように、標準とベストプラクティスの意義ある補完を目指したサービスを提供しています。

「設計」段階では、プロバイダや企業向けに、5G セキュリティ評価、ネットワークセキュリティの戦略策定、Open RAN 対応評価等を通して支援を行います。

図 1　DTCY のサービス概要

「開発」段階では、セキュリティと品質管理を開発プロセス全体に統合し、セキュアな製品の効率的出荷がベストプラクティスの為、DevSecOps を支援し、更に、ベンダーがセキュアな開発プロセスを評価し、GSMA NESAS 等のスキームへの準拠、実証することを支援しています。

「展開」・「統合」段階では、セキュリティ観点で展開を計画し、ネットワーク全体でのセキュリティツールの選択、評価、採用を支援しています。具体的には、ファイアウォールや監視システム、アイデンティティ管理やログ収集システム等の集中型 IT システムに対して 5G 要素を統合するなど、ネットワーク事業者だけでなくローカル 5G をビジネスとして活用したい大企業、自動車や医療機器等のコネクテッド製品を製造する企業にもサービスを提供しています。

「運用・保守」段階では、アタックベクターを継続管理し、インシデントを適時検出・対処することが重要な為、世界に拠点を置く当社サイバーインテリジェンスセンター（CIC）で、サイバーインテリジェンス、インシデント対応、監視を含む支援を 24 時間体制で提供しています。

最後に、DTCY は、TTC との関わりを通じて日本の標準化コミュニティと、より緊密な関係を築き、国内外におけるモバイル技術標準の更なる発展に貢献したいと考えています。

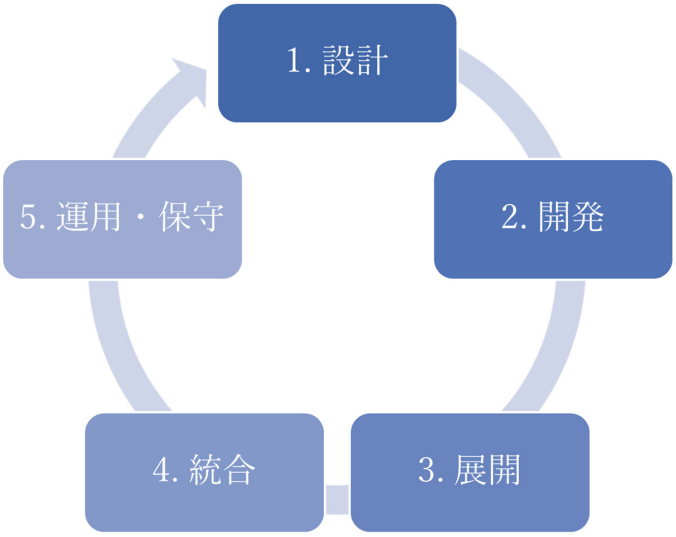

図2　ネットワークライフサイクル